

Muli bwanji?

2018. 7. 26

今回は、私の活動内容についてお伝えします。

農業事務所に配属になり、職務についての要請内容は「稲作とキノコ栽培の推進」です。現在、稲作は8農家、キノコ栽培は2つのグループを担当して活動しています。

私たちが推進している米はネリカ米と呼ばれる米で、WARDA（現在のアフリカ稲センター）が開発した陸稲です。雨が少なかったせいか、収穫量が平均値を下回る農家もありましたが、無事収穫することができました。次のシーズンは、よりよい圃場選びと耕作地の拡大を課題に活動する予定です。

この村に行くと、子ども達が集まってきます。いつも一緒に圃場の点検に行きました。



無事収穫できました。



キノコはヒラタケの栽培を進めています。乾季に植菌したためか標準の生育期間（3～4週間）よりもだいぶ時間がかかり（5～6週間）ましたが、無事収穫することができました。今季の成果は栽培の基本を農家の方がマスターすることができたことだと思います。次のシーズンは、鶏糞などの栄養剤を培地に添加して、より多い収穫を目指したいと考えています。

キノコ菌の植え付けの仕方を説明しました。



きのこも無事収穫できました。



米もキノコも植え付け後、ちゃんと成長してくれるか大変心配になる時期もありました。無事収穫できた時の農家の方の笑顔が、さまざまな苦勞を吹き消してくれます。いまだに現地語もかたことですが、一緒に土を耕し、おやつにもぎたてのグアバを一緒に食べ、収穫後一緒に喜ぶことにととても幸せを感じます。これからも農家の方に寄り添い、活動を展開していきます。

ミニ「千パタ」情報！

夏が近づくとここ東部州名物の旬の味「ねずみ」の干物が市場に並びます。内臓をとり、まるごと塩ゆでして干しています。まるごと食べられます。が、私はいまだに頭と毛がどうしても食べられずにいます。レッグなどはスモークチキンのような味だと思います。



2月にはンゴニ族のお祭りが開かれます。マラウイ、モザンビークからもンゴニ族が集まり、勇壮なダンスが見られます。